

デジタルトランスフォーメーション (DX) を実現する

デジタルトランスフォーメーション (DX) を実現する進め方とは

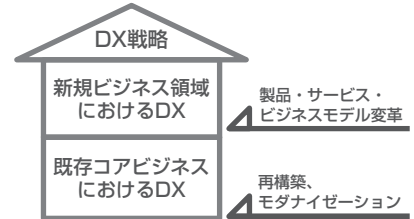


デジタル化の潮流は、あらゆる産業、企業を飲み込もうとしています。経済産業省も昨年「DXレポート」を発表し、もしデジタルトランスフォーメーション (DX) が進まなければ、「2025年には最大で年間12兆円の経済損失が生じる可能性がある」という警鐘を鳴らしています。このような状況において、企業では新規ビジネス創出やAI活用などの取り組みを始めていますが、効果が見られていないケースも多くみられます。DXには大きく2つの進め方があります。

1つ目は既存コアビジネスにおけるDXです。既存コアビジネスを抱えている多くの企業は、一足飛びにデジタル変革とはいかず、デジタル化のための準備 (インフラ基盤の整備、データ整備など) を行い、システムの再構築やモダナイゼーションを行うDXになります。

2つ目は新規ビジネス領域におけるDXです。スタートアップ企業や企業内で既存業務システムと切り離して新規ビジネスを創出するセクションなどでは、デジタル技術の活用による製品・サービス・ビジネスモデルの変革を実現するDXになります。考え方はデザイン思考、進め方はアジャイルになります。

どちらの進め方にしても、経営トップの関与ならびに組織としてのオーソライズ、DX戦略を立案することがポイントになります。

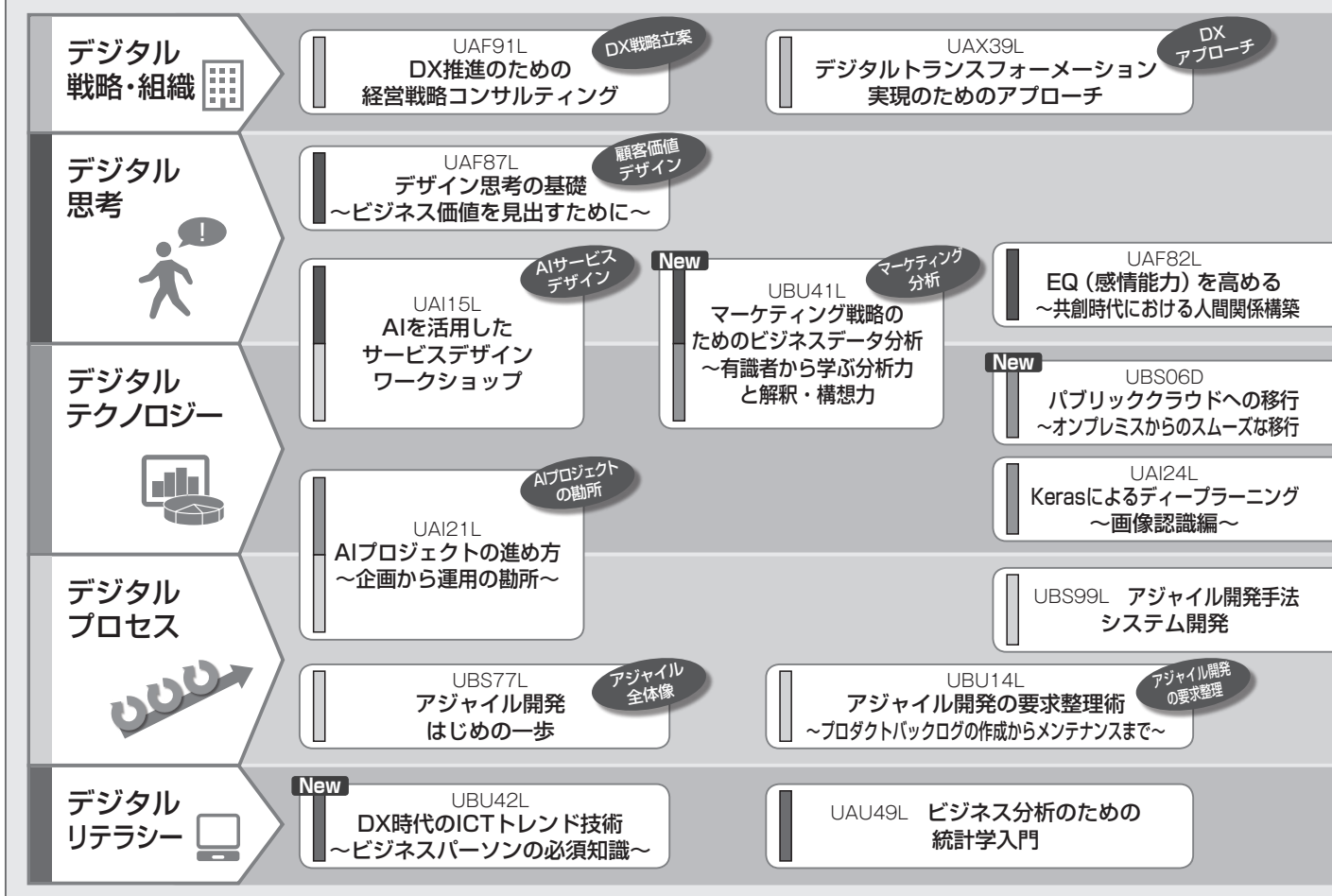


DXの2つの進め方のイメージ図

求められる人材と、必要となる観点は

ICTカレッジでは、上記のようなDXを推進する人材が持つべき要素を、右図の観点で捉えています。特に新規ビジネス領域におけるDXの場合は、この4つの観点 (デジタル戦略・組織、デジタル思考、デジタルテクノロジー、デジタルプロセス) が網羅的に必要になります。また、5つ目の要素として、デジタルリテラシーの観点も求められます。

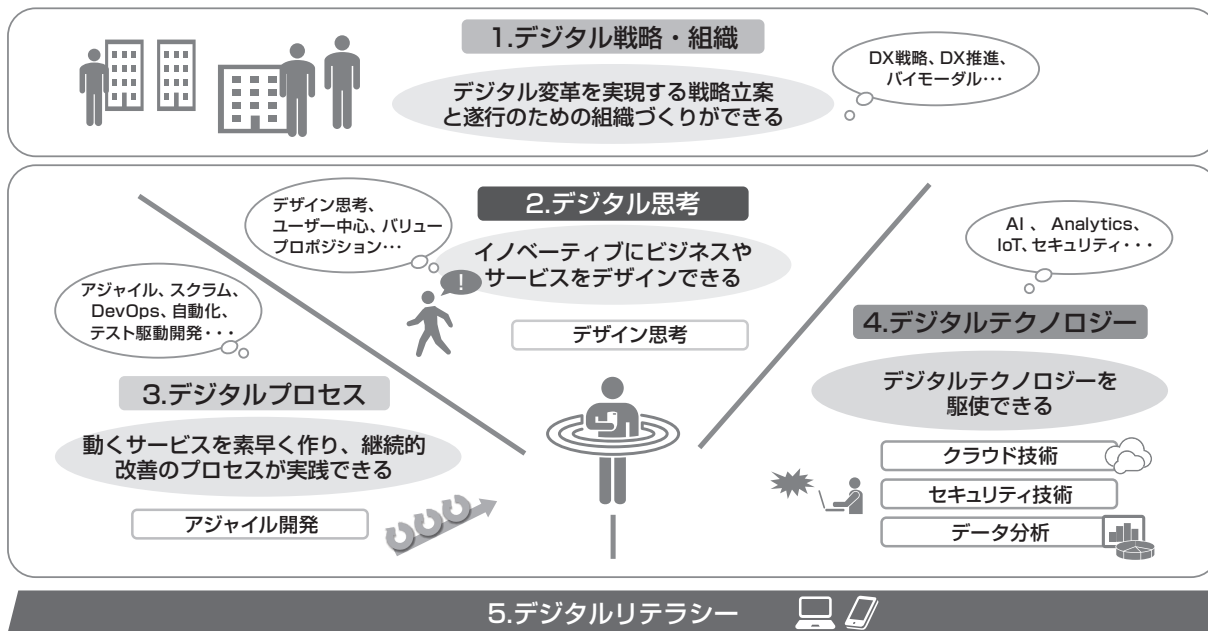
【DX人材の育成コースMAP】 ICTカレッジでは、DX人材の育成をご支援するコースを多数ご提供しています。育成にぜひご活用くだ



進め方と5つの人材育成観点

すべての人にデジタルリテラシーを

DXを実現させるためには、すべての人がデジタルリテラシーを身に付ける必要があります。データやセキュリティ、プログラミングなどの基礎的な操作を日常業務の中で行うシーンが当たり前のように訪れます。DXはIT部門、IT企業だけで実現するものではありません。デジタルリテラシーはすべてのビジネスパーソンが標準的に身に付けるべきものというマインドチェンジが必要です。



さい。 ※本ページは主要コースのみ掲載しています。

UAQ69L 価値実現のマネジメント
デジタルビジネス時代に求められる価値創造プロセスのマネジメント

EQ向上 に向けて～
UAF38L Business Co-Creating Workshop
ビジネス創出の実践

UAF92L 次世代リーダー育成プログラム (デジタル/レガシー変革・若手編)
若手によるビジネス企画

クラウド移行 ノウハウのみちるべ～
New UCV65L Microsoft Azureによるマイクロサービスの構築
マイクロサービス

REST API
UJS59L Web技術者のためのREST API開発 (JS編)

サイバーセキュリティリスク分析
USA71L サイバーセキュリティリスク分析基礎

実践入門 画像認識
UBU17L データサイエンス入門 ~データ活用の観点と代表的な分析手法~
データ分析の全体像

New UJE86L コードで制御するネットワーク環境の自動化入門
ネットワーク自動化

アジャイル疑似体験 による
UBU34L テスト駆動開発の基礎
アジャイルに適したテスト手法

DevOps
UAX38L 変革の第一歩となるDevOps ~ビジネス環境変化へのタイムリーな対応を考える

New UUF13L 事例で学ぶ! Excel VBA 実践トレーニング

New UJS64L / UJS65L Pythonによる日常業務効率化

USA72L セキュリティ対策 ~一般利用者が行うべき対策~